

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービスくれよん(放課後等デイサービス)				公表日	2025年 8月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4 △1	1	・学童クラブ併用児とデイのみ利用児でうまく時間を合わせている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5 △1		・個室の設置による空間整備、支援場所の固定、スケジュールや絵カード、サイン等を用いた情報伝達などお子さんの特性に合わせた環境設定を行っている。 ・車いす等での移動に配慮して、門から玄関までのスロープ、玄関や室内の段差をなくす等、バリアフリー化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃している。業者による床掃除も年1	・さらに広く使えるように工夫したい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・パーティションで区切った個室や相談室を使用することが常に可能。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・全職員が参画努力して定期的にケース会議や業務会議、日々の振り返りを行っている。目標設定をさらに具体的に職員の中で共有していく。	・働き方についてPDCAがもう少しできると働きやすくなると思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者の皆さまにご協力いただいたアンケート調査の結果（別文書公開中）を全職員で確認している。さらなる業務改善につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員のアンケート結果を全職員で確認している。さらなる業務改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・法人内の他の事業から、評価、改善案を提案される。 ・会計士からの評価・助言を受けている。	・第三者による視点は重要かと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修への参加を積極的に促し、内部への情報伝達を行っている。 ・年5～6回、法人で研修を行っている。	・内部研修も充実させていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ホームページにて公開されている。必要があれば随時改善していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・全職員による現状把握と課題分析を行った上で、児童発達管理責任者が、丁寧に児童発達支援計画を立てている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・ケース会議を行い共通理解の下、児童発達支援計画が立てられている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・担当指導員が支援計画を確認しながら、具体的な支援を実施している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4 △2		・標準化されたツールを用いたアセスメントはしていない。日々の行動観察によるアセスメントを行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインに沿った形で、それぞれのお子さんの状況・状態に合わせた支援内容を選択し、保護者や利用者のニーズに照らし合わせて設定している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・担当指導員が中心となり、ケース会議などで進めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・子どもの状況・状態、また組み合わせに合わせて、固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・曜日が様々になったことで、多くの子どもたちの集団場面での過ごし方が見えてきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・当日の動き、活動内容、場所などを確認しているが、小集団活動の内容や役割分担も打ち合わせている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・一日の振り返りを毎日行い、情報の交換・共有を行っている。振り返り時に担当者が不在の場合は日誌や回覧で情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎回個々の支援の記録をとり、継続した支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・担当者の報告をもとに、ケース会議や保護者との面談等にて確認し、支援計画の見直しの必要性を判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	・ガイドラインに沿った形で、それぞれの子どもの状況・状態に合わせた支援内容を選択し、複数組み合わせ支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4 △1	1	・職員全体で自分から発信すること、自ら考えて行動することを常に意識して支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・相談支援事業所からの電話での聞き取りやモニタリングには児童発達支援管理責任者が対応している。また、会議要請に児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5 △1		・地域の医療機関に協力をお願いしている。 ・相談所、学校と連携をとっている。 ・関係機関との連携の際は、積極的に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2 △3	1	・保護者を通じて情報共有している。必要に応じて、学校と連絡調整することもある。 ・保護者からの書類を基に組み立てている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3 △2	1	・併設の保育卒園児については、情報共有・相互理解はできている。 ・他園卒園児は、保護者を通じて情報を得ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1 △2	1 未記入2	・小中までしか在籍していない。 ・これまで対応したことないが、要望があれば情報提供できる。 ・必要があれば情報提供できる	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	・児童発達支援センターとの連携は取れていないが、外部の専門家に助言を受けることができる。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・併設する学童クラブと交流の機会がある。公園、児童館などで遊んでいる子たちと交流することもある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・児発・放デイの事業所連絡会に積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時などに保護者と情報を共有し、共通理解をもっている。保護者の希望により、活動の記録をノートに記入して渡すこともある。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4 △1	1	・当所で行っている対応について伝えたり、家でできる支援方法をお知らせしたりしている。 ・玄関に貼り出しをしている。	・ペアレントトレーニングとしてのプログラムは行っていない。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・重要事項説明書や支援計画書をもとに説明を行っている。運営規定等の情報は常に閲覧可能になっており、問い合わせ等には随時対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・面談や日々のやり取りの中で保護者の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・「放課後等デイサービス計画」を示しながら5領域に沿った支援内容の説明を行い、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・要望があればいつでも相談に応じている。内容によっては、職員間で検討して、助言や支援を行うこともある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者同士の交流がもて、親子でも楽しめるような機会を設けている。	・もっとこうした方が、など反省点は多い。次回に活かせるように考えていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談や申入れには可能な限り対応している。苦情対応に関する掲示やご意見箱の設置等、苦情に対応する体制を整え、重要事項説明書に明記し周知している。 ・個人的な申入れ内容については、他の保護者に周知していない。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・法人から『くれよん通信』、事業所から『デイだより』を発行している。また、ホームページやメール・ブログ等を用いて情報発信に努めている。	・今よりこまめに情報発信していけるようにしていきたい。
非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・外部への持ち出し禁止を徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・一人ひとりに合ったやり方を日々模索しながら考えている。 ・担当指導員がお子さんの状態等を聞き取り、また保護者に活動の様子を伝えている。保護者の意見の聞き取りも行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1 △1	4	・地域招待の行事は行っていないが、法人発行の『くれよん通信』を年4回地域の回覧板で回して頂いている。 ・散歩時に挨拶をしている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5 未記入1		各種マニュアルを作成し、契約時に文書にて保護者に周知している。改善の必要があれば職員全員で検討し、見直しを行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・事業所独自または併設の保育室や学童クラブと合同で、毎月避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・面談時のアセスメントで確認するとともに日々の送迎時に保護者から必要な情報を聞き取っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4 △1	1	・保護者からの情報、確認 ・アレルギー対応はしていない。アレルギー源に近づかない配慮はしている。 ・指示書のあるお子さんはいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5 未回答1		・年間計画を立て、避難訓練を行っている。緊急時の避難経路や緊急車両の呼び方など大きく張り出し、慌てずに対応できるようにしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5 未回答1		・緊急時の避難先や連絡手段、保護者の緊急連絡先など契約時に確認している。	・備蓄品についても知らせていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・日々の振り返りの中で報告し合い、情報を共有して検討し、改善につなげている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止委員会を立ち上げて取り組んでいる。外部研修に参加して、内部で共有している。関連する資料の読み合わせをして確認している。		

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	・契約時に説明を行い、保護者の承諾書をいただいている。また、支援計画書に記載している。	
----	--	---	---	--